

同和対策事業の見直しを!

町長

同和問題は今も重大な社会問題

【大森】同和問題は基本的に解決されたといつてよい。町民の間にも「もう必要ない。逆効果だ」という声もある。「同和地区」を固定化するのではなく、ど



大森正治 議員

こも対等平等な集落を実現するために、同和対策事業は見直し、早期に終了すべきと考える。
【町長】差別事象の発生や県民意識調査結果から、同和問題は今でも重大な社会問題と考える。
【大森】生活相談員の配置は。
【町長】地区住民の福祉の増進を図るために必要。
【大森】固定資産税の減免措置は。



地区進出学習会でのフィールドワーク

【町長】同和地区内の土地・家屋の取引価格は低いので、減免措置がある。
【大森】地区進出学習会は。
【教育委員会】部落差別に負けない力や差別をなくしていく力をつけることが目的。
【大森】進学奨励金の支給は。
【教育委員会】経済的理由で修学困難な同和地区の子どもに、修学のみちをひらくことが目的。

災害・事故を教訓に 防災・事故防止を!

町長

点検にはさらに目配りする

【大森】4月の強風は町内にも大きな被害を与えた。庄内保育所、大山野球場ナイター施設など公共施設にも被害が出た。耐用期限が来ている公共施設は、特に災害に備える必要がある。
亀岡市などで、小学生の列に車が突っ込み死者が出るという事故が発生した。これらを教訓に、町の安全・安心

の町づくりに生かすべきである。
町内の公共施設(建物・看板・野球場の照明灯・カーブミラーなど)の安全点検、耐用期限の来ている施設の処置は、どうしているか。
【町長】耐用期限が来ている施設は、修繕を行い維持していく。今、全施設の状況を把握中。施設の廃止も含め検討していく。

野球場の照明施設は定期点検を行う。カーブミラーは、必要に応じて修繕などの対応をする。
【大森】町内の歩道、特に通学路の安全は大丈夫か。
【教育委員会】文科省からの通学路再点検の指示により、各学校に確認を依頼した。改善すべき場所は、対応の協議を始めた。



目視による点検では不十分な照明施設